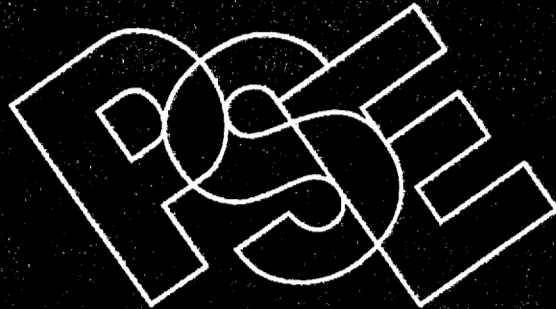


**YAMAHA**



**PROFESSIONAL SYSTEM EFFECTORS  
SYSTEM BOARD  
SB-100**

取扱説明書・保証書

# How to Set

## PSEファミリーの取り付け方法

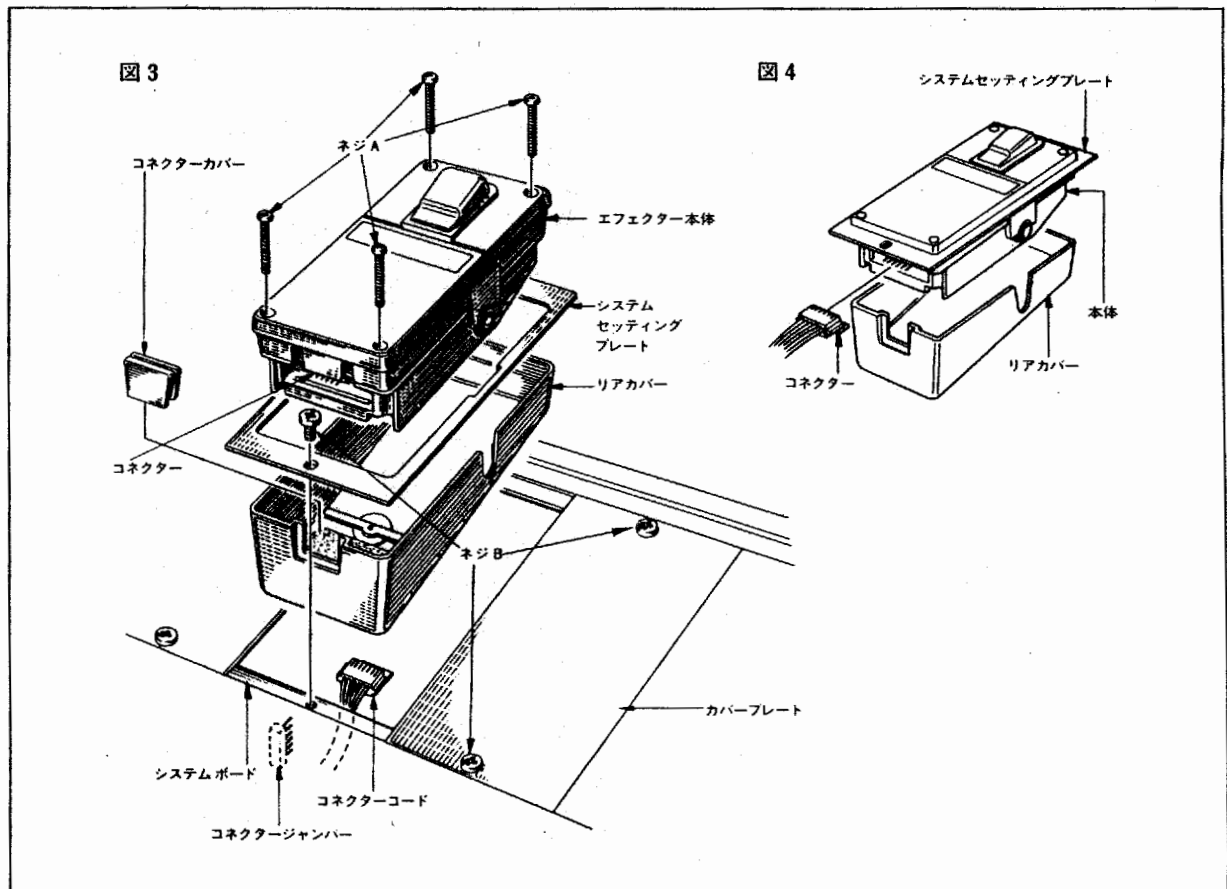
- ①ネジBをゆるめてシステムボードから付属のプレート類をはずしてください。
- ②エフェクター上面にある4本のネジ(ネジA)をゆるめてリアカバーをはずし、電池を取り出してください。
- ③コネクタカバーをはずし、図4のようにシステムセッティングプレートを本体にセットしてください。
- ④システムボードのコネクタコードをコネクタジャンパー(各コネクタが最初に接続されている所)からはずして、エフェクターのコネクタと接続してください。(コネクタコードは、数字のある面が下になる向きで差し込んでください。この時、確実に差し込んであることを確認してください。)

※運転中、コネクタがゆるんで外れるような事故を防ぐためにリアカバーを取り付けてしまうとコネクタの抜き挿しができないようになっています。必ず、リアカバーを取り付ける前に、コネクタをしっかりと接続してください。

- ⑤リアカバーに本体を入れてネジAをしめ、プレートを

固定してください。

- ⑥エフェクターをシステムボードにセットし、ネジBをしめて取り付けてください。
- ⑦なお、AD-10などのダブルサイズのユニットはダブルマウントプレートを使用します。この場合、一本のコネクタコードが余ることになりますが、このコードは必ずコネクタジャンパーに接続したままにしておいてください。この状態では、そのコネクタ番号をパッチングをせずにパスさせることができます。また、この場合ユニットのACコードは不要ですので、取り外してからシステムボードに取り付けてください。
- ⑧また、セッティングスペースが空いている場合には、そのスペースのコネクタを必ずコネクタジャンパーに差し込んで、空白スペースに付属のカバープレートを取り付けてください。カバープレートを取り付けないままで使用しつづけますと、ホコリや金属質のゴミなどがボード内に入り、故障の原因となりますので注意してください。



# Setting Example

## セッティング例

SB-100の1~7番のスペースに、PSEファミリーのどのエフェクターをセットするかは自由ですが、エフェクターシステムを構成する場合、一般的な接続順序としてコンプレッサー、オクターバーはシステムの入力に近い位置にセットし、コーラス、アナログディレイは最終出力に近い位置にセットすると効果的です。またノイズゲートは、できるだけシステムの最終出力に近い位置にセットした方が効果的ですが、アナログディレイを使用する場合には、この手前にノイズゲートをセットしてください。

図6はエフェクターシステムの例を示したものです。

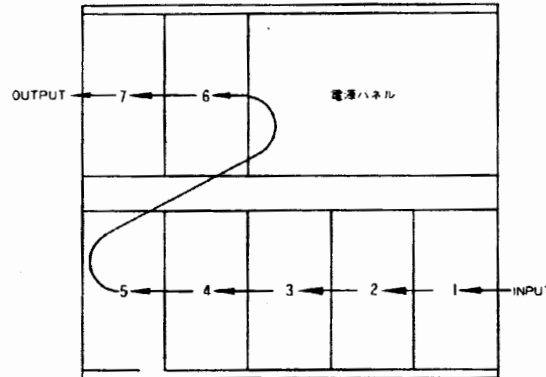
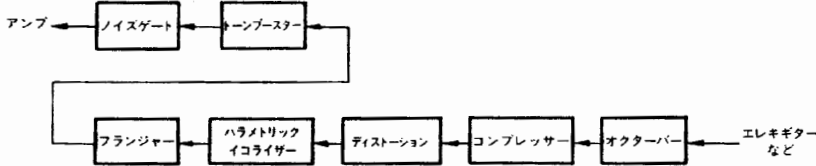


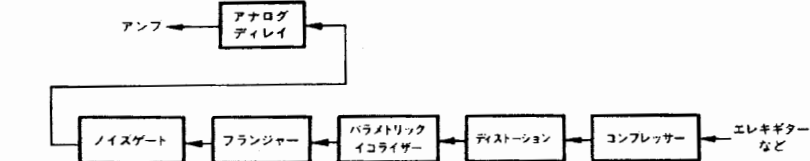
図5 基本的な信号の流れ

図6

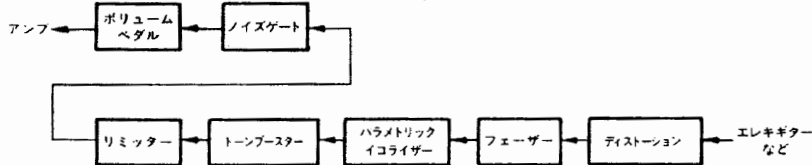
Ex.1 アナログディレイやボリュームペダルを使用しない場合の最も一般的なシステム例



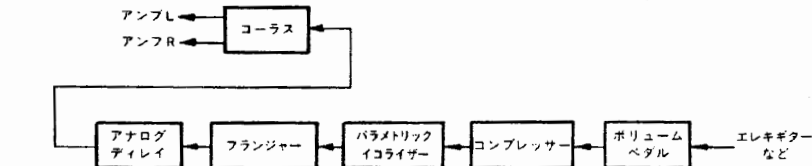
Ex.2 アナログディレイを使用する場合の一般的なシステム例



Ex.3 ミニペダルをCVに使用せず、ボリュームコントロールだけに使用する場合のシステム例



Ex.4 ミニペダルでCVコントロールもできコーラスで最終出力をステレオにする場合のシステム例

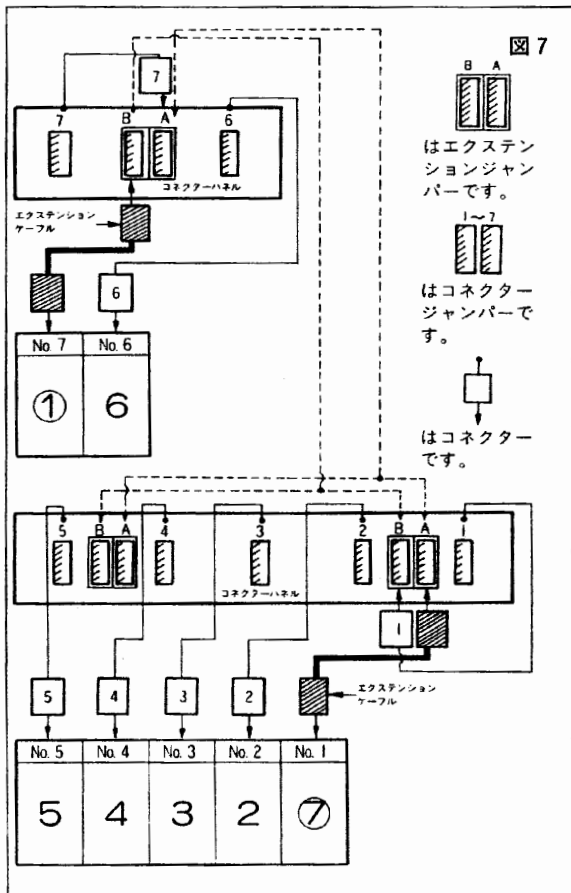
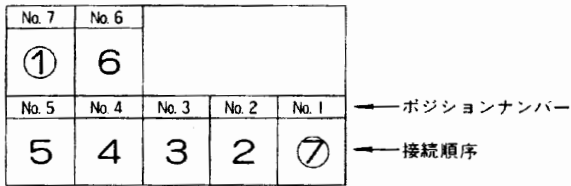


# Extension Cable

## エクステンションケーブルの使い方

エクステンションケーブル(付属品)は、エフェクターシステムの接続順序を変えずに最も操作しやすい位置に各エフェクターをセットする場合に使用するコネクター

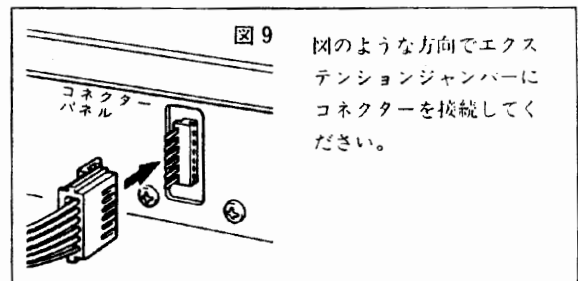
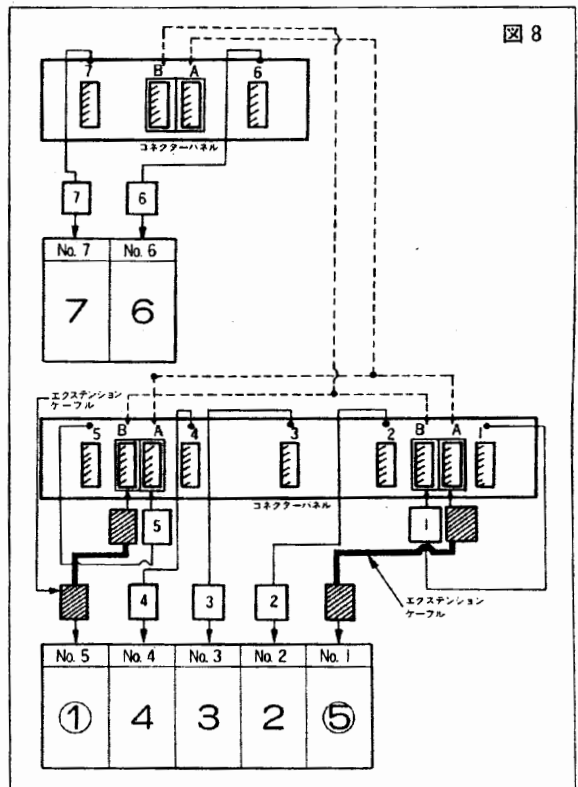
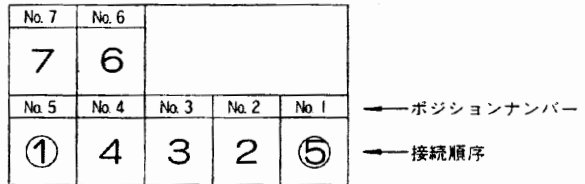
**Ex.1** システムの7番目に接続しようとするエフェクターをシステムボードのポジションNo.1にセットして操作する場合(通常は、この方法でミニベダルMP-01をポジションNo.1にセットしてボリュームベダルとして使用します。この場合CVベダルとしては使用できませんので注意してください。)



延長コードです。次の使用例を参考に接続してください。

(図の点線はエクステンションジャンパーによって内部接続されていることを示しています。)

**Ex.2** システムの5番目に接続しようとするエフェクターをシステムボードのポジションNo.1にセットして操作する場合



# Caution

## ご注意

1. システムボードと楽器やアンプの接続には、なるべく良質のローノイズギターコードをお使いください。
2. エフェクターシステムを最良の音質で使用するために、楽器の出力は必ずリアパネルのINPUTに接続してください。
3. スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。
4. コードのショートや断線を防ぐため、コードの扱いには充分注意してください。
5. 電池の液もれによる故障を防ぐために、各エフェクターの乾電池を、必ず取り出してからシステムボードに取り付けてください。なお、AC電源使用のダブルサ

- イズのエフェクターのACコードも取り外してからシステムボードに取り付けてください。
6. 当製品の入出力端子はEIAJ規格RC-707に適合しています。規格外のプラグを使用した場合には、正常に動作しないことがありますので注意してください。
7. 電源のON/OFFは、アンプ、スピーカーを保護するために、アンプのボリュームを最小にしてから行なってください。
8. この取扱説明書をお読みにになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

# Specifications

## 仕様

入力インピーダンス... ●1MΩ  
出力インピーダンス... ●1KΩ  
最大入力レベル... ●初段のユニットに依存  
最大出力レベル... ●終段のユニットに依存  
ファンクション... ●PEDAL FUNCTION SW(CV/VOL)  
●CV SELECT SW(2~7)  
●POWER SW ●POWER INDICATOR  
●INPUT ●OUTPUT  
定格電源電圧・周波数 ●AC100V・50/60Hz

定格消費電力... ●3.2W  
寸法・重量... ●452W×135H×455Dmm・8.5kg  
(付属品を含む)  
付属品... ●ACコード  
●セッティングプレート S×7 W×1  
●カバープレート X4  
●エクステンションコードL×2  
S×2  
●ビス X16

# After Service

## アフターサービス

### 1. アフターサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。また、お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは日本楽器支店にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

### 4. サービス網(下記の各支店電音サービス係にお問合せください)

- 東京支店 ☎(03)572-3111 東京都中央区銀座7-9-18パールビル内
- 横浜支店 ☎(045)212-3111 横浜市中区本町6-61-1
- 千葉支店 ☎(0472)47-6611 千葉市千葉港2-1 千葉中央コミュニティセンター
- 関東支店 ☎(0273)27-3366 群馬県高崎市歌川町8番地 高崎センター内
- 大阪支店 ☎(06)877-5151 大阪府吹田市新芦屋下1-16
- 神戸支店 ☎(078)232-1111 神戸市灘区浜辺通6丁目1-36
- 四国支店 ☎(0878)33-2233 高松市西宝町2丁目6-44

### 2. 保証期間

ヤマハPSEファミリー製品の保証は、ご購入日(保証書による)より満6ヶ月(現金・クレジット・月賦等による区別はございません。また保証書は国内のみ有効)と致します。

### 3. 保証期間後のサービス

満6ヶ月の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたらヤマハサービス網までお問い合わせください。

- 名古屋支店 ☎(052)201-5141 名古屋市中区錦1-18-28
- 北陸支店 ☎(0762)43-6111 石川県金沢市泉本町7-7
- 九州支店 ☎(092)472-2151 福岡市博多区博多駅前2-11-4
- 北海道支店 ☎(011)512-6111 札幌市中央区南10条西1丁目
- 仙台支店 ☎(0222)95-6111 仙台市原町南目薬師堂北2-1
- 広島支店 ☎(08287)4-3787 広島市紙園町西原2207-1
- 浜松支店 ☎(0534)74-0311 浜松市幸町3-5-8



**YAMAHA**

日本楽器製造株式会社

本社・工場 〒430 浜松市中区浜町10-1

TEL: 0534(65)1111